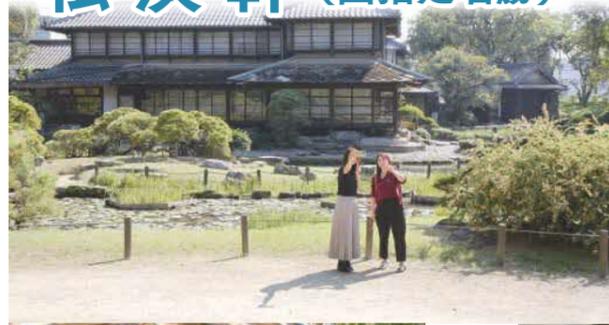


# 松浜軒 (国指定名勝)



庭園は緑がたくさん。写真を撮るなら絶対ココ。これからの季節は紅葉も。



京都・伏見稲荷の分社の稲荷神社や子どもの無事な成長を願う児宮があります。



たくさん歩いた後はちょっと休憩

八代妙見祭の人気者、亀蛇。近くで見ると迫力があってびっくり (令和4年1月10日まで)



ショップで販売している一筆箋は可愛い絵柄がたくさん

約200年前の八代妙見祭の絵巻から当時の行列を再現したミニチュア模型。その数なんと600体以上



江戸時代の八代の様子がよく分かる城下町の模型。

タッチパネルで八代妙見祭のゲームができます。



# お祭りでんでん館



11月6日(土)まで笠鉾本蝶舞を展示中。八代妙見祭の映像とともに楽しめます。



八代市の民俗芸能が飛び出す絵本に。画像は鏡町の鮎取り神事。

# 八代市立博物館

※撮影時のみマスクを外しています。来場の際はマスクの着用をお願いします。

# 最近今ホットなスポット3選

# この界隈がキテるんです

- お祭りでんでん館** 7×5メートルの三面巨大スクリーンで祭りの熱気や躍動感がすぐそこに
- 八代市立博物館** 特別展「妙見信仰と八代」開催中
- 松浜軒** 八代城主・松井直之が母・崇若院のために1688年に造った茶庭

11月はおでかけに  
ちょうどいい季節

夏の暑さも去り、秋の行楽シーズンとなりました。7月に新たな八代のシンボル「お祭りでんでん館」がオープンし、周辺の博物館、松浜軒とともに歩いてまわられます。今年の妙見祭の神幸行列は中止となりましたが、11月のお祭りでんでん館、博物館で妙見祭関連の展示も行っており、祭りの雰囲気味わうことができます。



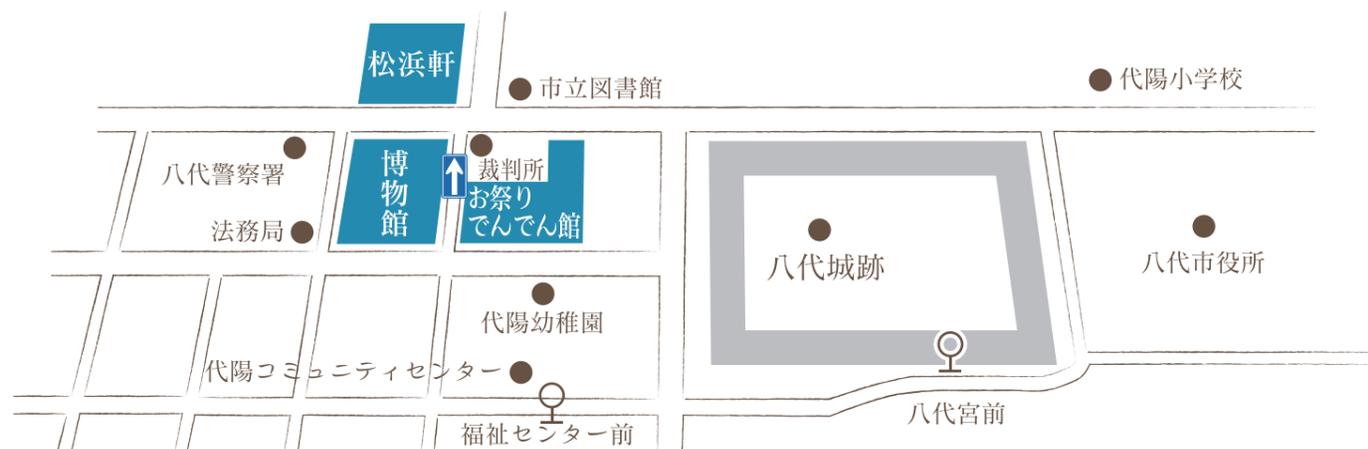
松浜軒

北の丸町 3-15  
☎ 33-0171



八代市立博物館  
未来の森ミュージアム

西松江城町 12-35  
☎ 34-5555



お祭りでんでん館

西松江城町 1-47  
☎ 37-8737  
開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)  
入館料 大人300円、高大生200円、中学生以下無料



とができます。来年の3月31日までお祭りでんでん館、八代市立博物館、松浜軒のいずれかの施設に有料で入館すると、他の2施設に割引料金で入館できる3館周遊割引チケット(当日有効)がもらえます。この機会にお得におでかけを楽しんでみませんか。

# イベント情報

## お祭りでんでん館

### 展示案内

#### 【11月の展示】

#### 1階展示室

開催中～11月6日(土) 笠鉾本蝶蕪 実物展示  
 11月7日(日)～23日(祝) 笠鉾本蝶蕪 実物大模型展示  
 笠鉾蘇鉄 実物展示

#### 2階展示室

11月2日(月)～28日(日)  
 笠鉾蘇鉄水引幕

約120年前に作られた  
 貴重な水引幕です。

開催中～12月19日(日)

妙見祭の魅力紹介

笠鉾のヒミツ～本蝶蕪～  
 笠鉾本蝶蕪の骨組み  
 などから構造の秘密に迫る展示です。



今年はお祭りでんでん館で  
 妙見祭を体感しよう

11月21日(日)と23日(祝)は入館無料

### 子ども体験講座

#### がめさんふれあい体験& とび出せ!がめさんカードづくり教室

妙見祭の人気者“がめさん”がお祭りでんでん館にやってきます。がめさんと楽しくふれあった後は、とび出すカードづくりに挑戦してみよう。

とき 11月21日(日) 午前9時30分～正午

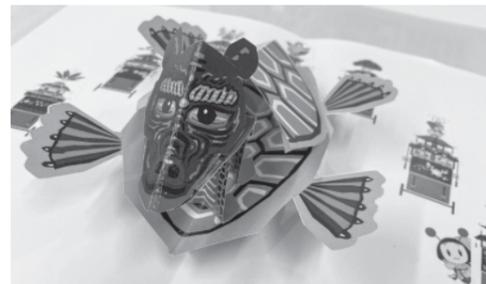
定員 市内の小学生と保護者12組(先着順)

費用 無料

申込方法 事前申し込み制。電話で申し込みください。

11月1日(月)午前9時から受け付けます。

申込み・問合せ お祭りでんでん館 ☎ 37-8737



## 松浜軒

### ■松井文庫展示案内 [企画展示]

## 武家のくらし ～香炉・文房具～

会期 令和4年1月31日(日)まで

会場 松浜軒内  
 松井文庫展示場  
 午前9時～午後5時  
 (入園は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日  
 (祝日の場合はその翌日)

観覧料 一般500円  
 小中学生250円

問合せ 松浜軒/松井文庫  
 ☎ 33-0171



青釉獅子形水滴 中国・清時代 松井文庫所蔵

写真は、地面に臥せる獅子をかたどった手のひらサイズの水滴です。水滴とは、硯に使う水をいれておく容器で、文房具の一種です。本作では、獅子が背負う袋に水を入れておけるようになっていきます。松井文庫展示場では、この他さまざまな作品を展示しています。

## 青釉獅子形水滴

中国・清時代

十八世紀以降の日本では、書齋で学問や趣味を楽しむ清らかな生活を理想とした中国の文人思想がもたらされ、文房具や香炉といった文人らしいアイテムが人気を集めます。松井家に伝わる文房具や香炉の中にもこうした流行の中で収集されたものがあり、清らかな趣味の一端を知ることができます。写真に、地面に臥せる獅子をかたどった手のひらサイズの水滴です。水滴とは、硯に使う水をいれておく容器で、文房具の一種です。本作では、獅子が背負う袋に水を入れておけるようになっていきます。松井文庫展示場では、この他さまざまな作品を展示しています。

# おすすめコース

スタート

## 松浜軒



松浜軒へしゅっぱーつ



企画展示「武家のくらし」  
 会場の1つ驥斎展示場の  
 名前の由来にも歴史を感じます



ちょっと休憩



次は博物館だ

## 博物館



博物館前のくまモンとぱしゃり

絵巻に何か  
 書いてある



いよいよ博物館  
 屋根は翼をイメージして設計されています



開館30周年を記念してこれまで  
 発行された図録の割引販売や歴代の  
 特別展覧会ポスターが展示中。  
 (令和4年3月31日まで)

## お祭りでんでん館



お祭りでんでん館到着

カーブしている屋根の  
 意味を聞いてみよう



〔エントランス〕  
 館内をガイドの人が案内してくれます。  
 八代市のさまざまな民俗芸能を知ることができます



〔展示室〕  
 笠鉾を細部まで見ることができます。  
 約1カ月ごとに実物と模型が入れ替わるので、  
 展示スケジュールをチェックしておきましょう

